

ACCESS®

カセットガス発電機

AQ1700GB

取扱説明書



ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

保証書付き

■はじめに

AQCESS発電機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、安全にお使いくださいますようお願い致します。

- ・当社の許可なく、取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修および無断での転載等は禁止されています。
- ・安全上の注意や製品仕様等は、予告なく変更される場合があります。その為、お客様が購入された製品と、取扱説明書に記載された内容が異なる場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

この取扱説明書及び製品本体に貼り付けられたラベルは、安全に関わる重要な注意事項を、警告・注意のマークを使用し表現しています。

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防止する為のものですので、必ずお守りください。

本製品を使用する前に、この取扱説明書に記載されている各項目を良く読み、理解し、厳守してください。取扱説明書を無くしたり、汚したりせず、使用者が必要に応じて読むことができるよう大切に保管してください。

警告・警告事項の意に反して安全義務を怠ったり、規定外の使用による機器の破損や怪我等に関しては、当社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



警告

この表示内容を見逃し、誤った使い方をしますと、死亡事故や怪我等の重大な傷害に結びつく可能性があります。

- ・必ず取扱説明書を読み、本製品の使用方法をよく理解してからご使用してください。
- ・本製品の分解・改造はしないでください。
- ・排気ガスには、有害な成分が含まれていますので、使用中は必ず換気をし、使用場所の換気を良くしてください。また、まわりの人や、動植物などにも十分ご注意ください。
- ・使用中、使用後はマフラー部及び周辺部が非常に熱くなりますので、絶対に触れないでください。ヤケドやケガの原因になります。
- ・一酸化炭素は、無色、無臭、無味の気体で、非常に毒性が強く、少量でも死亡するおそれがあります。
- ・室内、車内、倉庫、トンネル、井戸、船倉、タンク内などや屋外でも換気の悪い場所では使用しないでください。カセットこんろと異なり、排気ガス中の一酸化炭素濃度が高いので短時間でも中毒死するおそれがあります。
- ・屋外でも以下のような場所では排気ガスが流入し、一酸化炭素中毒で死亡するおそれがあります。
 - ・ベランダなどの窓や、玄関の近く
 - ・テントの近く
 - ・ガレージの近く
 - ・温室/ハウスの近く

- ・雨の中や水のかかる場所では使用しないでください。また、保管しないでください。雨や水で濡れた発電機や接続の電気機器を使用したり、また濡れた手で操作すると感電するおそれがあり危険です。
- ・発電機を水洗いしないでください。電装部品の故障やショートを起こす可能性があります。また湿気や凍結により使用時に感電するおそれがあります。
- ・本機の点検や清掃、積み下ろしおよび運搬をするときは下記の状態であることを確認のうえ行ってください。守らないと思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。
 - ・エンジンが停止していること
 - ・メインスイッチが「閉」の位置にあること
 - ・カセットボンベが取付けられていないこと
- ・カセットボンベを本機に取付けるときは、□金部にゴミや異物がないことを確認してください。
- ・□金部に泥や砂などが付着している場合は、□金Oリングを傷めないように綿棒などで拭き取ってください。□金Oリングを傷めると、カセットボンベ内のガスや、配管内にたまっているガスが噴出し、引火するおそれがあります。
- ・電力会社からの電気配線には、絶対に接続しないでください。故障、火災、感電事故の原因になります。
- ・誤った使用方法により、商品が破損・人体への損傷・物品等への損害が生じた場合、一切の保証、並びに責務は無効となります。
- ・医療機器への使用に関しましては必ず事前に医療機器メーカー、医師、病院などに確認をしてください。思わぬ事故につながる可能性があります。
- ・本製品はAC出力電源50/60Hzの切り替えが可能ですので使用機器、もしくは使用する地域の周波数(東日本50Hz、西日本60Hz)に合わせて切り替えてください。間違った周波数で使用しますと、機器の作動不良、故障などにつながる恐れがありますので、使用機器の説明書などで仕様をよく確認してから周波数を設定してください。



注意

この表示内容が無視し、誤った使い方をすると、人的障害及び製品の故障やその他物的損害に結びつく可能性があります。

- ・使用前に、毎回必ず各部の点検を行ってください。(始動前点検P.8参照。)
- ・本製品を平坦で固い床面に設置し、建物や壁から1m以上離してください。
- ・発電機が転倒し、本機や接続の電気機器が故障を起こすだけでなく思わぬ事故を起こす可能性がありますので、必ず本製品を垂直に保つように設置してください。
- ・エンジン始動中は、本製品を移動させないでください。
- ・エンジン始動中は、子供や幼児の手の届くところでは使用しないでください。
- ・使用中に異音、異臭、振動等の異常が感じられた場合は、直ちにエンジンを停止させ、販売店までご連絡ください。
- ・定格出力を超えた過負荷状態では、絶対に使用しないでください。故障や火災等の原因になります。
- ・エンジン始動前に、電気機器を接続しないでください。感電やケガの恐れがあります。運搬の際は、必ず2人以上で運んでください。

カセットボンベの取り扱い



警告

この表示内容を見逃し、誤った使い方をしますと、死亡事故や怪我などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

火災や爆発事故などの危険がありますので、カセットボンベに記載されている警告内容をよくお読みください。

- ・ カセットボンベを使用の際は、火気や直射日光を避けてください。
- ・ カセットボンベの取付、取外しを行うときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・ 本機にカセットボンベを取り付けるときは、口金部に付着物がないか確認し、汚れ等がある場合には傷をつけないよう綿棒などで拭き取ってください。
傷をつけると、カセットボンベ内のガスや、配管内にたまっているガスが噴出し、引火する恐れがあります。
- ・ カセットボンベの保管は、ボンベにあらかじめ付属していたキャップを閉め、湿度の少ない40℃以下の場所にしてください。
使用後はカセットボンベは本商品から取り外した際も、必ずキャップを閉め、同様の場所で保管してください。
- ・ 正しく保管しない場合、カセットボンベが爆発し、死亡事故を引き起こす恐れがあります。
- ・ カセットボンベに強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
変形したものや、錆のあるカセットボンベは破損や、ガス漏れによる引火の恐れがあります。
- ・ カセットボンベのガスを故意に吸い込まないでください。酸欠により、窒息死する原因となります。

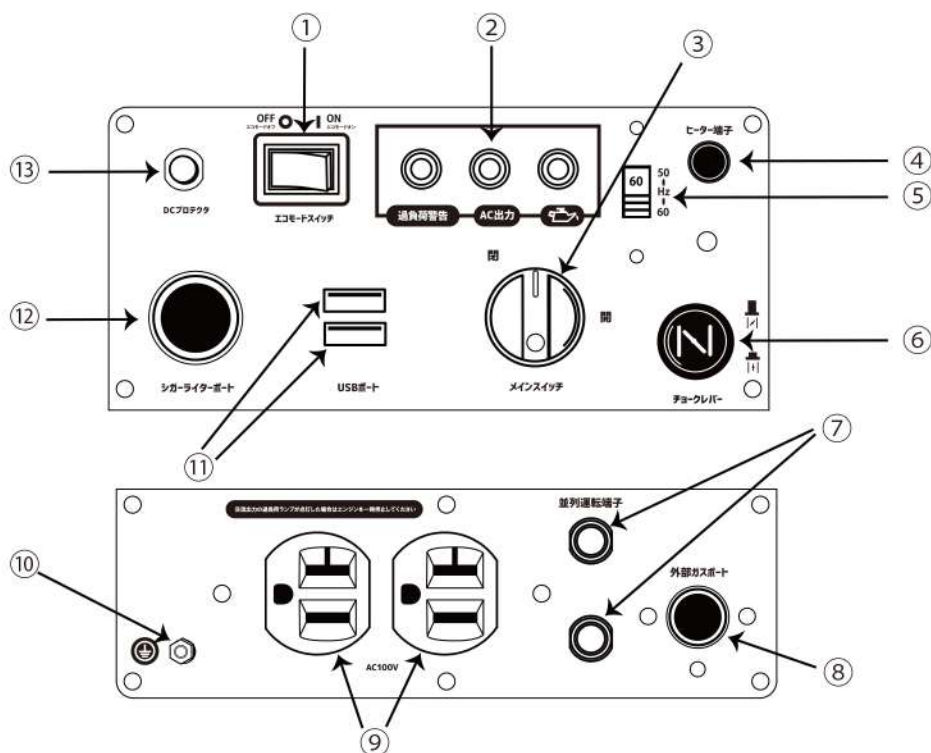
各部名称

■ 外観



各部名称

■コントロールパネル



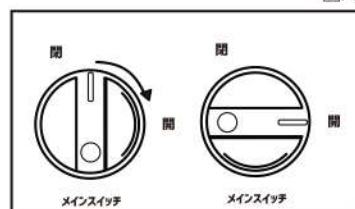
- | | |
|---------------------|--------------|
| ① エコモードスイッチ | ② コントロールランプ |
| ③ メインスイッチ | ④ ヒーター端子 |
| ⑤ 50HZ/60HZ切り替えスイッチ | ⑥ チョークレバー |
| ⑦ 並列運転端子 | ⑧ 外部ガスポート |
| ⑨ AC電源コンセント (2口) | ⑩ アース端子 |
| ⑪ USBポート (2口) | ⑫ シガーライターポート |
| ⑬ DCプロテクタ | |

■コントロールパネル

◇ メインスイッチ 【図A】

図A

- ・メインスイッチ：閉
ガス配管のスイッチが切れて、
エンジンが作動しません。
- ・メインスイッチ：開
ガス配管のスイッチが入り、
エンジンの始動が可能です。

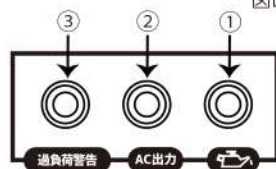


◇ コントロールランプ 【図B】

図B

① オイルアラームインジケータランプ (イエロー)

オイルレベルが下限値を下回ると、
オイルアラームインジケータランプ①が点灯し、
その後エンジンが自動停止します。
オイルを補充しないかぎりエンジンは再び始動出来ません。



補足：エンジンが始動しない場合は、メインスイッチを切り、
再び「開」にしてからリコイルスターターを引いて再始動ください。
オイルアラームインジケータランプ①が数秒間点滅する場合は、
エンジンオイルが不足しています。オイルを追加して再始動してください。

② ACパイロットランプ (グリーン)

ACパイロットランプ②は、エンジンが始動して発電可能な時点灯します。

③ 過負荷インジケータランプ (レッド)

接続された電気機器の過負荷が検出された場合や、インバータ制御ユニットが
過熱したとき、または、AC出力電圧が上昇したときに点灯します。
同時にACプロテクターが作動し、発電機と接続された電気機器を
保護するために、ACパイロットランプ②が消灯し、
過負荷インジケータランプ③が点灯しますが、エンジンは停止しません。

過負荷インジケータランプ (レッド) が点灯したら

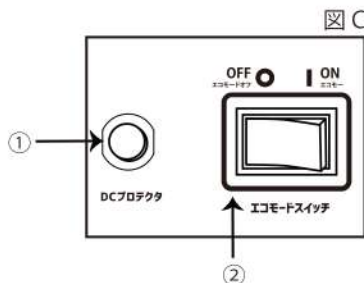
1. 接続されている電気機器の電源を切り、エンジンを停止して下さい。
2. 接続されている電気製品の総負荷を定格出力以下にしてください。
3. 冷却気取り入れ口やコントロールユニット周辺に詰まりがないかを確認し、
異物があれば取り除いて下さい。
4. 確認後、エンジンを再始動してください。



モーターを使用する電気機器など、大きな始動電流が必要な電気機器を接続した場合、
最初に過負荷インジケータランプ③が数秒間、点灯することがあります。
接続した電気機器のワット数と、発電機の定格出力ワット数を確認してください。

◇ DCプロテクタ 【図C①】

DCプロテクタは、発電機に接続されている電気機器が動作し、定格以上の電流が流れると自動的に「OFF」になります。
再度使用する場合は、DCプロテクタのボタンを「ON」にしてください。



警告

DCプロテクタがOFFになった場合、接続する電気機器の負荷を発電機の規定定格出力以下に減らしてください。再度DCプロテクタがOFFになった場合は、直ちに使用を中止し、販売店にご相談ください。

◇ エコモードスイッチ 【図C②】

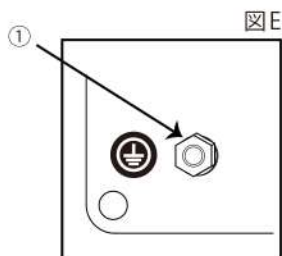
- ・ ONにした場合
エコモードユニットが、接続された負荷に応じてエンジン回転数を制御します。
燃費消費を最小限に抑え、騒音レベルを低減します。
- ・ OFFにした場合
負荷にかかわらず定格回転数(4500rpm/min)でエンジンが動作します。



電気機器が「瞬間的な」電力を必要とする場合、エコモードは効果的に機能しません。
負荷の高い機器を接続する場合や、DC出力に接続する場合は、エコモードスイッチをOFFにしてご使用ください。

◇ アース端子 【図E①】

アース端子①は、感電防止のためアース線を接続します。
電気機器がアースされている場合、必ず発電機もアースをしてください。



始動前点検

安全に使用する目的と、発電機の故障と事故を未然に防ぐため、必ず以下の点検作業を使用前に実施してください。

⚠ 警告 点検する際は、必ずエンジンが停止している状態で行ってください。

■カセットガスの取り付けに関して

1. ボンベカバーを開け、内の口金部にゴミや異物がないことを確認してください。
口金部に泥や砂などが付着している場合は、口金リングを傷めないように綿棒などで拭き取ってください。
2. カセットガスに残量があるか、カセットガスに錆や変形が無いかを確認します。
カセットボンベは2本装着可能ですが1本のみでも発電機は運転可能です。

⚠ 警告 ブタンガスは引火性が高く、有毒です。火器や炎のそばで使用しないでください。
カセットガスボンベの容器の「安全上のご注意」をよくご確認の上、ご使用ください。
カセットガスは0℃以上の状態でご使用ください。

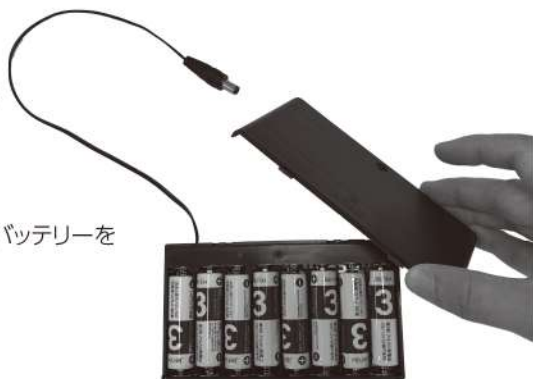
⚠ 警告 必ず「東邦金属工業(株)」と表示のあるカセットこんろ用ボンベを使用してください。
表示のないカセットボンベを使用すると、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。
また、錆や変形が見られるカセットボンベは使用しないでください。

ご使用のポイント

カセットガスが約-10℃～0℃の場合は、
付属のバッテリーヒーターを使用し、
約10～15分加熱してから始動することをお勧めします。

(使用電池：単3形アルカリ乾電池 8本)

発電機が正常に起動してから、約1分後にバッテリーを取り外してください。



■ エンジンオイル

⚠ 発電機はエンジンオイルなしで出荷されています。エンジンオイルを充填するまでエンジンを始動させないでください。

1. 発電機を水平な場所へ置き、付属のドライバーでネジを外し、メンテナンスカバー①を取り外します。
2. オイルフィルターキャップ②を取り外します。
3. 指定された量のエンジンオイルを充填します。

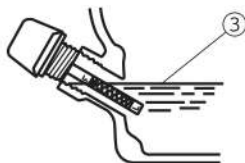


推奨エンジンオイル：SAE 10W-30 または 15W-40
推奨エンジンオイルグレード：SE 級以上
エンジンオイル量：0.35L



4. オイルフィルターキャップ②を取り付け、しっかりと締めます。その後メンテナンスカバー①を取り付け、ネジをドライバーで取り付けます。

■ オイルは高品質の4ストローク用の合成オイルを使用してください。



⚠ オイル量の不足は故障の原因となります。
必ず③のレベルまでエンジンオイルを充填してください。

⚠ 警告

- ・この確認を行うには、エンジンのスイッチを切った状態で、発電機を平らな場所に置いてください。
- ・オイルレベルを確認するときは、発電機の熱い部分に触れないようにしてください。

■ 各部位の点検

- ・発電機からのオイル漏れがないかを点検してください。
- ・接続するガスボンベに、へこみや錆などの異常がないかを点検してください。
- ・リコイルスターターの作動状態は良好か、ロープに損傷は無いかを点検してください。
- ・ネジ類の緩みがないかを点検してください。
- ・各スイッチ、コンセントに損傷が無いかを点検してください。
- ・エンジンの始動性、異音、排気の状態は良好かを点検してください。

使用方法

■周波数の切り替え

1. 50HZ/60HZ切り替えスイッチ周波数切換えスイッチを、接続する電気機器の周波数に合わせます。



■カセットガスの装着

1. ボンベカバーのロックレバーを押してボンベカバーを開けます。
2. カセットガスボンベのキャップを外し、1.3cm程度押し込みます。
カセットガスボンベ1本のみでも発電は運転可能です。

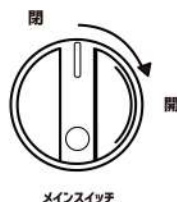


■エンジンオイル確認

1. エンジンオイル量を確認してください(確認方法は9P参照)

■エンジンの始動

1. 発電機に接続している電気機器をすべて取り外します。
2. エコモードスイッチを「OFF」にします。
3. メインスイッチのcockつまみを「開」にします。
4. チョークレバーを完全に引きます。



- ⚠** 温まったエンジンの始動時には、チョークレバーを引く必要はありません。
チョークレバーを元の位置まで戻してください。



5. リコイルロープをリコイルスターターが噛み合う位置までゆっくり引いてください。
リコイルスターターが噛み合い、抵抗が出たら勢いよく引っ張ってください。

- ⚠** リコイルスターターを引くときに発電機が倒れないように、ハンドルをしっかり握ってください。



6. エンジン始動後、チョークレバーを元の位置に戻してもエンジンが止まらなくなるまで暖機運転をしてください。



警告

閉めきった場所で発電機を運転することは事故に繋がる可能性がありますので絶対にしないでください。発電機の運転は、換気の良い場所で行ってください。発電機を作動する前に、電気機器を接続しないでください。

■電気機器の接続

電気機器がアースされている場合、必ず発電機もアースされている必要があります。
(アース工事には電気工事士の資格が必要です)

1. 電気機器の電源を切ってからコンセントを差し込んでください。
2. 合計負荷が発電機の定格出力内にあることを確認してください。
3. エンジンを始動します。
4. エコモードスイッチを「ON」にします。
5. AC電源コンセントに各機器のコンセントを差し込みます。
6. ACパイロットランプが点灯していることを確認してください。
7. 電気機器の電源を入れます。



電気機器の電源が切れていることを確認してから、プラグを差し込んで下さい。



総負荷が発電機の定格出力内であることを確認してください。
各電源コンセントの負荷電流が、電源コンセント定格電流値以内であることを確認してください。

■エコモードスイッチ

エコモードは負荷に応じてエンジン回転数を変化させ、
騒音や燃料消費を低減させるモードです。



エンジン回転数を定格回転数まで上げるには、エコモードスイッチを「OFF」にします。
また、発電機を複数の負荷または複数の電力配線に接続する場合、最初に起動電流の大きいものを接続し、最後に起動電流の小さいものを接続する様にして下さい。

また外気温が低い場合、エコモードスイッチが正常に作動しない場合がございます。
周囲の温度に応じて暖気運転を行ってください。

周囲の温度が0℃ 以下の場合 ... エコモードスイッチ「OFF」の状態
で5分間暖気運転をします。

周囲の温度が5℃ 以下の場合 ... エコモードスイッチ「OFF」の状態
で3分間暖気運転をします。



発電機を複数の負荷または複数の電力配線に接続する場合、最初に起動電流の大きいものを接続し、最後に起動電流の小さいものを接続する様にしてください。

また負荷の高い機器を接続する場合やDC出力に接続する場合は、エコモードスイッチを「OFF」にしてご使用ください。

■エンジンの停止

1. 接続している電気機器の電源を切ります。
2. エコモードスイッチを「OFF」にします。
3. 発電機に接続している電気機器をすべて取り外します。
4. メインスイッチのつまみを「閉」にします。

運搬・保管

■カセットボンベの外し方

1. メインスイッチを「OFF」にする。
2. ボンベカバーを開けます。
3. カセットボンベの底の部分握り、上に引き上げます。
4. カセットボンベを取り外した後、ボンベカバーを閉じます。



警告

液化ブタンは瞬時に気化し、非常に引火しやすく爆発して死傷事故を引き起こすおそれがあります。カセットボンベを取外しするときは

- ・ エンジンを停止してください。
- ・ 換気の良い場所で行ってください。
- ・ 火気を近づけないでください。

■運搬

運搬の際は、カセットボンベを本体から外し、本体を水平にした状態にしてください。
また、車内に積載するときは、本機が動かないように固定してください。



警告

カセットガスボンベの容器の「安全上のご注意」をよくご確認の上、ご使用ください。
カセットガスは0℃以上の状態でご使用ください。

取外したカセットボンベは、ボンベ付属のキャップを装着して40℃以下の日陰で、湿気の少ない場所に保管してください。

■ 保管

長期間使用しない場合には、以下の項目に従い保管してください。

⚠ 警告

整備をする前に、発電機を停止してください。

カセットボンベに含まれるブタンガスは、引火性が高く、毒性がありますので作業は換気の良い場所で行ってください。

また、火気を近づけないでください。

作業は、平坦な場所で本機を縦置きにして行ってください。

エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラーなどの温度や、油温が高くなっています。

点検・整備はエンジンが冷えてから行ってください。

ヤケドをするおそれがあります。

1. カセットボンベを取り外します。
取外したカセットボンベは、ボンベ付属のキャップを装着して40℃以下の日陰で、湿気の少ない場所に保管してください。
2. エアフィルターを清掃します。(清掃方法は16P参照)
3. スパークプラグを取り外し、スパークプラグの穴にスプーン1杯程度のエンジンオイルSAE 10W-30を注入し、スパークプラグを再び取付ます。
4. リコイルスターターでエンジンを数回転させ、(メインスイッチは「閉」にしておきます)シリンダー壁にオイルを塗布します。
5. リコイルスターターを重くなるまで引きます。
(この操作でシリンダーやバルブが錆びるのを防ぎます)
6. 発電機各部の清掃を行います。本機が冷えている状態で、カバーなどをかけて、下記の条件に合った場所で保管します。

- ・ 風通しのよい場所
- ・ 湿気の少ない場所
- ・ 室温が-15℃を下回らない場所



⚠ 警告

発電機を水洗いしないでください。

電装部品の故障やショートを起こす可能性があります。

また湿気や凍結により使用時に感電するおそれがあります。

定期点検

■点検・交換の目安

製品をいつまでも安全で快適にお使いいただくために定期点検を行いましょう。

	使用前点検 (毎回点検)	1ヶ月又は 20時間運転	3ヶ月又は 50時間運転	1年又は 300時間運転
エンジンオイル	点 検	交 換 ※初回運転時	交 換	
エアクリーナー	点検・清掃	清 掃	交 換	
スパークプラグ	点 検	清 掃		点 検 清掃・調整
カセットボンベ 取付口	点 検		点検・清掃	
スパークプラグ				調 整 必要に応じて交換
マフラスクリーン			清 掃	
バルブクリアランス				調 整 ※
燃料チューブ	2年毎に必要なに応じて点検をしてください。 ※			
シリンダーヘッド ピストン	125時間毎にカーボンチェックを実施し、 必要に応じてカーボンの除去を行ってください。 ※			
※印の項目につきましては専門知識が必要になりますので販売店までご相談ください。				

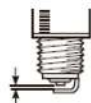
- ⚠ ホコリ等が多い場所で使用した場合は、エアクリーナーの清掃は10時間運転毎、必要に応じて25時間ごとにエアフィルターエレメントを交換してください。
- ⚠ 高温や高負荷で通常的に使用する場合は、25時間ごとにオイルを交換してください。
- ⚠ 表示時間・期間が経過したら、速やかに点検・交換を行ってください。
- ⚠ 点検・交換目安は、期間毎または運転時間毎のどちらか早い方で行ってください。
- ⚠ 点検時に、異音、異臭、振動等の異常が感じられた場合は、直ちに点検作業を中止し、販売店までご連絡ください。

■スパークプラグ点検・交換

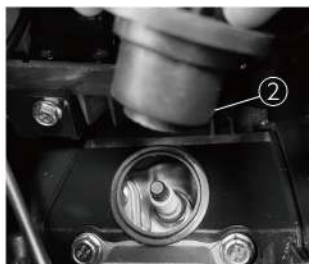
1. 本体上部にありますスパークプラグカバー①を開けます。
2. 内部のスパークプラグキャップ②を外します。
3. スパークプラグレンチ③をカバーの外側から穴に差し込みます。
4. ハンドルバー④をスパークプラグレンチ③上部の穴に差し込み、反時計回りに回すとスパークプラグがはずれます。
5. スパークプラグの中心電極の周りに変色がないかを確認し、カーボンを除去します。
スパークプラグの中心電極の周りの磁器絶縁体は、淡～中褐色なら使用出来ます。
6. トルクレンチでスパークプラグを取り付けます。
7. スパークプラグキャップ②、スパークプラグカバー①を取り付けます。

推奨点火プラグ：NGK BP6HS または同等品

スパークプラグ：電極すきま 0.6～0.7mm 締付トルク 20.0 N*m



⚠ 電極すきまはシネックスゲージで測定し、側方電極を曲げて調整をしてください。



■エンジンオイルの交換



警告

運転停止直後にオイル交換をしないでください。

本体及びオイルが高温になっておりやけどの恐れがあります。

1. 発電機を水平な場所に置き、数分間エンジンを暖めた後、エンジンを停止します。
2. 発電機を水平な場所へ置き、付属のドライバーでネジを外し、メンテナンスカバー①を取り外します。



3. オイルフィルターキャップを取り外します。
4. エンジンの下にオイルパン②を置き、発電機内部のオイルが完全に出るまで傾けます。
5. オイルが出きったら発電機を水平な場所へ置きます。
6. 指定された量のエンジンオイルを充填します。

推奨エンジンオイル：SAE 10W-30 または 15W-40
 推奨エンジンオイルグレード：SE 級以上
 エンジンオイル量：0.35L



オイル充填の際は必ず本体が水平の状態で作業をしてください。
 斜めの状態で充填をすると規定量より多くオイルが入り、エンジン部を損傷する可能性があります。

7. オイルフィルターキャップを取り付け、しっかりと締めます。
8. こぼれたオイルをきれいに拭き取ります。
9. オイルフィルターキャップを取り付け、しっかりと締めます。その後メンテナンスカバーを取り付け、ネジをドライバーで取り付けます。



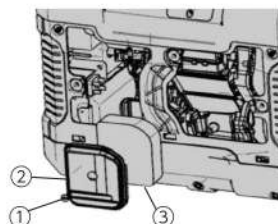
メンテナンスカバー内に異物が混入していないかを確認してください。

■エアフィルター清掃

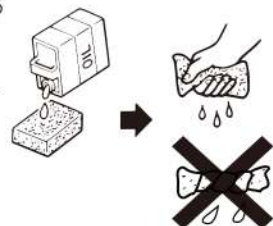
1. ネジを外し、メンテナンスカバーを取り外します。
2. ネジ①を外し、エアフィルターケースカバー②を取り外します。
3. フォームエレメント③を取り外します。
4. フォームエレメント③を溶剤で洗浄し、乾燥させます。
5. フォームエレメント③に油を含ませ、余分な油を切ります。



フォームエレメント③は絶対にきつく絞らないでください。
 破れてエンジンが不調になることがあります。



6. フォームエレメント③をエアフィルターケースに挿入します。
 フォームエレメントのシール面がエアフィルタと一致していることを確認し、エア漏れがないようにしてください。
7. エアフィルタケースカバー②を取り付け、ネジ①を締めます。
8. カバーを取り付け、ネジを締めます。



■マフラスクリーンとスパークアレスター点検

⚠ 警告 エンジンをつけた直後は、マフラーなどが非常に熱くなっています。体や衣服が触れないようにしてください。やけどのおそれがあります。

1. ネジ①を外し、カバー②を取り外します。
2. ボルト③を緩め、マフラーキャップ④を外します。
3. マフラスクリーンとスパークアレスターを取り外します。



4. マフラスクリーンとスパークアレスターに付着したカーボンをワイヤーブラシで掃除します。

⚠ 清掃するときは、マフラスクリーンとスパークアレスタの損傷や傷を避けるために、ワイヤーブラシはゆっくりと動かしてください。

5. マフラスクリーンとマフラーキャップ④を取り付けます。
6. カバー②を取り付け、ネジ①を締めます。

故障対策

■エンジンが始動しない

- | | | |
|-----------------|-------|--|
| ○ カセットボンベにガスがない | | カセットボンベを交換してください。 |
| ○ カセットボンベにガスがある | | しっかりとガスボンベがはまっていることを確認しメインスイッチを「開」にしてください。 |
| ○ オイルレベルが低い | | エンジンオイルの量を確認し充填をしてください。 |
| ○ カセットボンベが冷えている | | ボンベ取付後、付属のバッテリーヒーターで10分～15分程度温めてください。 |
| ○ スパークプラグが汚れている | | スパークプラグを乾燥させて清掃をしてください。 |
| ○ 点火系統が不良 | | 販売店にご相談ください。 |

■発電機が発電しない

○ DCプロテクターが「OFF」 …… DCプロテクターを「ON」にしてください。

○ ACパイロットランプ(ブルー)が消えている …… エンジンを停止し、再始動をしてください。

 対策方法を試しても症状が改善されない場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

製品仕様

商品名	AQCESS ガス発電機 AQ1700GB
商品型番	AQ1700GB
定格周波数	50Hz/60Hz
定格電圧	AC100V
定格出力	1.5Kw(1500w)
最大出力	1.7Kw(1700w)
力率	1.0%
シガーライターポート(DC)	12V
USBポート(DC)	5V/1A 5V/2.1A
使用環境条件	大気圧:100kPa 気温:25℃ 湿度:30%
エンジン種類	単気筒4ストローク空冷式OHV
排気量	79.7cc
使用燃料	ブタンガス(カセットボンベ)
カセットボンベ使用量	2個
使用エンジンオイル	4サイクルエンジンオイル (SE 級以上)
エンジンオイル量	0.35L
スパークプラグ形式	TORCH E6TC/E6RTC ※推奨スパークプラグ: NGK BP6HS
始動方式	リコイルスターター
全長×全幅×全高	W450×D290×H415 mm
重量	21.5kg
連続運転時間	約42分 (定格負荷運転時)

付属品 スパークプラグレンチ×1 ハンドルバー×1 オイル給油用ファンネル×1
プラスドライバー×1 バッテリーヒーター×1

 本製品は、12ヶ月保証対象品です。下記の製品保証規定を参照してください。

 スパークプラグは、TORCH E6TC/E6RTCが付いています。

製品の特徴について

■使用できる機器の容量

発電機を使用する場合は、総負荷が発電機の定格出力内であることを確認してください。
定格出力外での使用は発電機の破損に繋がる可能性があります。

	使用電気機器	使用範囲の目安	備考
交 流	照明・電熱器など 	100V 1500Wまで	交流(AC)と直流(DC)を併用する場合の交流(AC)使用可能範囲は左記の値から96Wを減じた範囲となります。
	電動工具類 	100V 1200Wまで	
	汎用モーター類 	100V 544Wまで	
直 流	バッテリー 	12V・8Aまで	

交流(AC)電源と直流(DC)電源の同時使用は可能ですが、合計消費電力が定格出力を超えないようにしてください。

上表の供給範囲内であっても、起動電流が大きい電気製品やモータ等では使用できないものがあります。

その場合は機器メーカーにお問い合わせください。

※ 使用電気機器と発電機の目安

発電機を使用する場合、多くの電気機器に表示されている消費電力以上の出力が必要となりモーターを使用する電気機器では消費電力の4倍程度の電力が必要となります。

製品保証規定

- ※ 製品の保証期間は、ご購入後12ヶ月です。
- ※ 正常な使用状態にて故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理、交換させていただきます。
- ※ 本保証は、当該製品単体の保証を意味します。製品の故障及び損傷により発生する損害は、保証対象には含まれません。
- ※ 本保証は、日本国内においてのみ有効です。海外で発生した故障及び損傷に関しては、保証対象には含まれません。
- ※ 保証の可否は弊社が判定いたします。
- ※ ご購入日の確認ができない場合は、有償修理として受け付けさせていただきます。
- ※ 製品保証は弊社で販売した商品のみ有効です。
- ※ 二次的に発生する損失の補償及び次に該当する場合は保証対象には含まれません。

- ・ 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- ・ 製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ・ 消耗品が損傷し、取り替えを要する場合。
- ・ 地震・火災・風害その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ・ ご納入後の輸送や移動時の落下や衝撃による故障及び損傷。

廃棄について

本製品を廃棄する場合は、オイルは指定された容器に移し、お住まいの自治体のゴミ廃棄方法に従って、本体とオイルを処理してください。
また使用済みのカセットポンベは、必ず完全に使い終えてから、お住まいの自治体のゴミ廃棄方法に従って廃棄をしてください。

所有者・使用者責任

所有者、及び使用者は当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）を良く読み、理解しなければなりません。発電機の構造、及び構成している部品等をよく理解し、十分な経験のある者が責任を持って当該商品を使用し作業を行うようにしてください。

警告事項は特に良く理解するようにしてください。

所有者、及び使用者は今後の作業の上で、メーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように努めてください。

警告ラベル、説明書等については、必ずいつでも読む事が出来るよう保管をしてください。

使用上の注意

1. 使用中は安全のため、安全メガネ・安全手袋・防塵マスク・耳栓・作業着等の安全保護具を着用してください。
2. 使用する工具の説明書を良く読み、注意事項を守って作業してください。
3. 使用前に、各部に傷、損傷、錆等が無いが良く確認してください。
4. 定期的に各部の点検を行い、オイル交換や清掃を行ってください。
5. 誤った使用方法により商品が破損、人体への損傷、物品等の損害が生じた場合、一切の保証、並びに責務は無効となります。

故障について

故障と思われる場合は、お手数ですが、お買い上げの販売店又は販売元までお問い合わせください。

日本アクセス株式会社

〒945-0855 新潟県柏崎市鯨波甲673-10

お客様サポートセンター 0257-41-5011

ACCESS[®]

日本アクセス株式会社